

2020年6月16日

プレスリリース

日興アセットマネジメント株式会社

日興アセット、「最優秀 ETF 運用会社(日本)」など ETF2 部門で受賞

～ アジア金融専門誌「The Asset」が選出、香港上場 ETF で「最優秀 ETF マンデート」も ～

日興アセットマネジメント株式会社(以下、「日興アセット」)は6月4日、アジアの有力金融専門誌「The Asset」主催の「トリプル A アワード 2020」において、「最優秀 ETF 運用会社(日本)」並びに「最優秀 ETF マンデート」を受賞しました。2019年(暦年)を評価期間とし、運用するETF(上場投資信託)の商品性、企画力、投資啓蒙活動、イノベーション、リーダーシップ、運用パフォーマンスなどのさまざまな観点から総合的に選出されたものです。日興アセットの「最優秀 ETF 運用会社(日本)」の受賞は、2017年以来、2度目となります。

「最優秀 ETF 運用会社(日本)」の受賞について、日興アセットのETFセンター長兼ETF事業共同グローバルヘッドの今井幸英は、「日本における最優秀ETF運用会社に選出いただき大変光栄です。日興アセットは、日経平均株価やJPX日経インデックス400、東証REIT指数などの主要各指数に連動した金銭信託・金銭償還型のETFを提供する日本有数の運用会社であり、革新的なETF商品の開発および提供において、業界を常にリードしています。また、4本のETFが「つみたてNISA」(積み立て型の少額投資非課税制度)の対象商品として採用されるなど、多くの投資家の皆さまの多様なニーズに沿った商品をご提供しています」と述べています。

日興アセットの国内のETF運用資産残高の総額は2019年12月末時点で約8兆6500億円に達し、評価期間の1年間で約3割増加しました。この間、マイナス金利環境下で収益を求める国内の機関投資家の皆さまに対する積極的なプロモーション活動を行なうとともに、個人投資家の皆さまには新たにデジタルを活用したプロモーションなどを展開しました。さらに、日興アセットのグローバル・ネットワークを駆使し、現地の機関投資家を対象にセミナーを開催するなど、グローバルな投資家やマーケットメーカーへのマーケティングを展開しました。また、シンガポール現地法人である日興アセットマネジメント アジアが組成し、2019年10月に香港証券取引所に上場した香港籍のETFが「最優秀ETFマンデート」を受賞しました。

日興アセットマネジメント アジアにてETF事業共同グローバルヘッド 兼 インターナショナル・プロダクト・デベロップメント・アンド・マネジメントヘッドを務めるフィリップ・ヤオは、「今回の受賞を大変嬉しく思います。今回受賞対象となったETFは、証券取引所、インデックス・プロバイダー、マーケットメーカーなどさまざまなビジネスパートナーとの密接なパートナーシップにより実現しました。多様でグローバルな香港市場への進出は、戦略的にも大きな節目となるだけでなく、アジアでの日興アセットの事業拡大にも寄与するものと考えます。今後も、アジアをはじめ世界中のお客様のニーズにお応えして、多様なソリューションの提供および商品開発を推進していきます」と述べています。

「The Asset」誌は今回、企業における ESG(環境・社会・ガバナンス)に関する取り組みを重要な評価基準として考慮しています。日興アセットは評価期間中、「カーボン・ニュートラル」認証^{*}を取得したほか、LGBT やその他の性的少数派の人々が働きやすいインクルーシブな職場環境作りを促進する「PRIDE 指標 2019」の最高評価「ゴールド」を獲得し、また、職業体験の提供と文化交流を目的とするシリア難民のインターン受け入れなどといった数々の取り組みを推進し、こうした点も高い評価につながったとみられます。

日興アセットは今回の受賞を励みとして、運用成績の更なる向上と競争力のある商品・サービスの提供に努めてまいります。

以上

※日興アセットマネジメントの「カーボンニュートラル」認証取得に関するプレスリリースはこちらです。
https://www.nikkoam.com/files/lists/release/2019/190917_01_j.pdf

「The Asset Triple A Awards (トリプル A アワード)」について

アジアの有力金融情報誌「The Asset」誌により選出される「トリプル A アワード」は、金融業界のさまざまな分野で優れた実績を誇る企業を表彰するものです。当アワードは、20 年以上の実績があり、「The Asset」誌の編集委員会が厳しい評価基準や調査機関により提供されたデータ分析に基づき審査し、企業の取り組みを総合的に評価し、選出しています。

「The Asset」誌の詳細については、同誌のウェブサイトをご確認ください。(英文) <https://www.theasset.com/>

■リスク情報

- 投資信託は、投資元金が保証されているものではなく、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、投資元金を割り込むことがあります。投資信託の運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なります。

■手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料 上限4.4%(税抜4.0%)

換金手数料 上限1.1%(税抜1.0%)

信託財産留保額 上限0.6%

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

信託報酬(年率) 上限3.045%(税抜2.95%)

一部のファンドについては、運用成果等に応じて成功報酬をご負担いただく場合があります。

その他費用 組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息、貸付有価証券関連報酬 など

※その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。

※上記手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することはできません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

《ご注意》

- 手数料等につきましては、日興アセットマネジメントが運用する投資信託のうち、徴収するそれぞれの手数料等における最高の料率を記載しております。(当資料作成日現在)
- 上記に記載しているリスク情報や手数料等の概要は、一般的な投資信託を想定しており、投資信託毎に異なります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■その他の留意事項

- 当資料は、日興アセットマネジメントが弊社の運用する投資信託についてお伝えすることを目的として作成した資料です。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託をお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

日興アセットマネジメントについて

日興アセットマネジメントは、日本そしてアジアを代表する資産運用会社です。株式、債券、オルタナティブ、マルチアセットなど多様な資産クラスを対象とするアクティブ運用や ETF(上場投資信託)を含むパッシブ運用など、革新的な投資ソリューションを提供しています。

60年に及ぶ実績を誇り、約30の国・地域から集まる人材を世界11カ国・地域に擁して、約200名の運用プロフェッショナルが約22.1兆円の資産を運用しています。グローバルな視点を活かし、お客様のニーズにお応えする様々な商品の開発を推進するとともに、優れた運用パフォーマンスの実現を常に追求しています。銀行などの金融機関、証券会社、生命保険・損害保険、ファイナンシャルアドバイザーなど、国内外の計400社超の販売ネットワークを通じ、個人投資家の皆様や年金基金や金融機関など世界中の機関投資家のお客様に対して幅広いサービスを提供しています。

詳しくは、日興アセットマネジメントの [HP](#) をご覧ください。

* 日興アセットマネジメント株式会社および連結子会社の役社員を含む。

** 日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含む)の2020年3月末現在のデータ。

日興アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会